

<タイプ1>
 ・夏目漱石の専門の考え方に納得した。丸谷才一「よし、自分は上機嫌で書こう」は良いと思った。最近、バスや電車を使っていて、歩きたいなと思うようになった。
 ・天に星、地に花、人に愛という言葉が心に残った。「無限に対する憧憬」という言葉に関心があった。
 ・「歩く人は賢くなる」印象に残った。師匠をナポレオンにしたい。
 ・夏目漱石に影響を受けた。この言葉は自分のキャリア選択に役立てたいと思った。

<タイプ2>
 ・「外は広く内は深い」すごい良い言葉だと思った。
 ・一番尊敬している偉人は誰ですか？私も自分の考え方に自信が持てる社会人になりたいと思った。
 ・石川啄木の記念館に行った。
 ・志賀直哉さんの動画を見て、友人を大切にすることが、自分の人生の中で必要であり、いなくてはいけない存在であると感じた。
 ・教室が暑すぎた。
 ・30代で亡くなる人もいるのに今もなお歴史に名を残す人がいて、行動力の違いがあると思う。
 ・鈴木大拙「成長はまたつねに苦痛をともなう」成長や進化をする時、絶対にきつい事がある。
 ・天才や秀才は孤独だと勝手に思っていたが、90歳で亡くなるまで付き合う友人がいることに驚いた。

<タイプ3>
 ・海外の名言をもっと知りたい。
 ・鈴木大拙さんの「われわれは知性に生きるのではなく、意志に生きるのだ」が心に残った。詳しく調べレポートにしてみたい。
 ・鈴木大拙さんの学歴が中卒に驚いた。
 ・武者小路実篤の多くの人を巻き込みながら新しき村などの新企画を断行し、常に世間の注目をひいている。
 ・哲学者の鈴木大拙さんは中卒なのに世界最高の哲学者と言われていてどんなにすごい人なのか興味がわいた。
 ・犬養毅の娘さんの顔を初めて見てビックリした。志賀直哉の言葉に興味を持った。

<タイプ4>
 ・座席指定は良いと思う。
 ・武者小路実篤の記念館が仙川にあると聞いて、行ってみたいと思った。
 ・「仕事は上機嫌でやろう!」。僕は一步一步積み上げていくタイプだが、「もう一步」という言葉は心に残った。
 ・吉田松陰の生き方にグッときた。西村京太郎さんの湯河原にある記念館に行ったことがある。
 ・志賀直哉さんが凄い人だと知ることができた。
 ・毎回、違うタイプの人が登場してくる中で、中卒はインパクトがあった。

<タイプ5>
 ・志賀直哉「金は食って行けさえすればいい程度に取り喜びを自分の仕事の中に求めるようにすべきだ」カセギとツトメに似ていると感じた。
 ・親友はひとりの人生にとって不可欠です。
 ・武者小路実篤「自分の力に合うことだけをしろ。その他の事は自ずと道が開けてくるまで待て」に驚いた。
 ・エニアグラムのタイプ毎の紙がとても面白い。
 ・正岡子規の「漱石が来て虚子が来て大三十日」この言葉に深い意味を感じた。
 ・志賀直哉の言葉にすごく共感でき、心に響いた。
 ・「候」という言葉の響きが好みだから多く聴くことができて良かった。

<タイプ6>
 ・お互いを支え合って、高め合える関係の友人がほしい。
 ・「どの色も殺さず、どの色も生かす」という言葉が印象に残った。
 ・親友とライバルを持つことが大切であるということが分かった。友人を多く作り情報収集したいと思った。
 ・ベーターヴェンの生き方、考え方が好き。
 ・夏目漱石の言葉に胸をうたれた。
 ・鈴木大拙が中卒だと知った。友人を大切にしないといけないと思った。
 ・友の存在は自分の考え方や技術の幅を広げてくれる事が分かった。
 ・講義で学んだ人物で良いですか？
 ・マリーキュリー夫人か、ヘレン・ケラーについての内容にしたい。
 ・名言を選ぶ際表示している時間が少し短いです。
 ・志賀直哉の「金は食って行けさえすればいい程度に取り、喜びを自分の仕事の中に求めるようにすべきだ」という言葉が一番印象に残った。
 ・「自分の力に合うことだけをしろ」この言葉が自分の心に今回の講義で響いた。
 ・正岡子規の子規は、時鳥からだと初めて知った。
 ・偉人の名言には、楽な道より茨の道へ行け、のようなことを言っていて、自分に厳しい人が多い気がする。
 ・「井戸をのぞくと、井戸もこちらを見ている」という言葉は、ニーチェの「深淵をのぞくと深淵もこちらをのぞいている」に感化されたのか気になる。モデルは織田信長。
 ・志賀直哉の「和解」という作品が良いと思う。
 ・様々な人物の名言を知れた。
 ・正岡子規は苗字と出身地が同じで縁を感じるので深く調べたいと思った。愛媛に坂の上の雲ミュージアムや子規記念博物館があり何度か訪れた。
 ・自分も日本全体に影響を与えられる人物になってみたい。
 ・鈴木大拙の「成長はまたつねに苦痛をともなう」に共感した。苦痛とは成長のことである。とても納得できた。

<タイプ7>
 ・今回で親友の大切さを学ぶことができた。
 ・誰かの心の中で覚えていてもらえるような人生を送りたいと思った。
 ・最終レポートは岡本太郎に決めたい。
 ・歴史が好きなので歴史に触れての講義に興味を持って集中して聴くことができた。
 ・宮城県出身なので、志賀直哉さんについて調べてみたいと思った。小説を何冊か読んでみてそれを題材に扱ってみたい。
 ・「龍となれ、雲自ずと来る」一番印象に残った言葉でした。
 ・私の考えとは少し違うなーと思った。
 ・正岡子規は野球をしていたので興味を持っていたのでレポートに書きたいと思う。
 ・高校の時は、野球部でライバルがいて充実した日々だった。

<タイプ8>
 ・志賀直哉「自分に才能をくれるなら、寿命が縮んでもいい。悪魔に身を売ってもいい」という言葉に感服した。さすが「小説の神」と言われる人だ。
 ・「円は広大な心を表します。考える事によって、それは宇宙をも包みます」が円は始めも終わりもない完全で広大な心に通じる究極の形であるので、円相図を僕も作れるようにしていきます。
 ・夏目漱石「自分の力に合うだけのことをしろ」私のタメになった。尊敬できる人物はフィギュアスケートの宇野昌磨さんです。
 ・好きな偉人はビリー・ザ・キッドです。
 ・志賀直哉の紹介が印象に残った。

<タイプ9>
 ・鈴木大拙の「成長はつねに苦痛をともなう」にハッとさせられた。この言葉を大切にしていきたいと感じた。
 ・武者小路実篤の仙川の家に行ったことがある。夏目漱石がキャリア教育を考えていたことはすごいと感じた。
 ・正岡子規の「病気の境遇に処しては病気を楽しむということにならなければ生きていても何の面の味もない」優れた批評精神と好奇心のおもむくまま豊かな精神生活を感じさせる文章が並んでると思う。
 ・武者小路実篤の「龍となれ雲自づと来たる」は、自分から行動していくことが大切だと感じた。
 ・武者小路実篤と志賀直哉の関係性がすばらしいと思った。
 ・社会に出て行く上で「ライバル」と「友」という存在を明確にすることで自らの発展・成長のきっかけにしようという風に考えた。鈴木大拙「成長はまた常に苦痛をともなう」この言葉は生きていく上で大切だと感じた。
 ・夏目漱石はとても高い知名度がある文学家と言える。中国でもすごく人気がある。一番有名な事は「I love you」を「今日は月が綺麗」に訳したことです。私も夏目漱石のようにすばらしい翻訳をできるようになりたい。
 ・個人というものをのぞいては何も創造できないという文にグッときた。
 ・禅を世界に広めた人はこんな人だったのかと知った。
 ・正岡子規がベースボールを「野球」と訳したことを初めて知った。正岡子規の名前が記してある野球場が上野にあるということも初耳だった。
 ・武者小路実篤は23歳の処女出版「荒野」から67年間作品は6000というから凄い事だと感じた。

<タイプ?>
 ・エニアグラムを活用していきたい。
 ・この講義を受講して名言を聞き学ぶうちに、物事に対する考え方が少し変わった気がする。興味を持つものに多少変化があり、本を読み著者の名言など探ることも増えた。
 ・志賀直哉の名言から「幸福は弱く、不幸は強い」人生は幸福は少ししかなく、ほとんどが不幸だと思う。大事な事が今後待っているのでは?と思った。
 ・正岡子規、びょうきはマイナスなことですが、プラスに変えようとする考えがとても良いと思った。
 ・趣味の小説を書いています、wordで書いている時は楽しくてスラスラ書けたが、書籍化を目指してアプリで書くようになったらスラスラ書けなくなった。
 ・席を戻してほしい。見にくい。
 ・全ての出来事に意味を見出していくというのはとても大切なことだと感じた。
 ・現代は科学が発展しているが、それも限界があると分かった。
 ・夏目漱石の名言に感動し、モデルにしたいと思う。通学途中に仙川を通るので、是非武者小路実篤の記念館に行ってみよう。
 ・ジョン万次郎のような人生を送ってみたい。
 ・夏目漱石の「道楽である間は面白いに決まっているが、その道楽が職業と変化するととたんに今まで自分本位であったはずか、、、」とても納得した。それぞれの関係性がすごく良いと思った。私も生涯の友達はこの人だと言えるようになりたい。夏目漱石を選ぼうと思う。
 ・正岡子規の俳句など、心に響いた。
 ・夏目漱石の「世の中は根気の前に頭を下げる事を知っているが、花火の前には一瞬の記憶しか与えてくれません」印象に残った。